

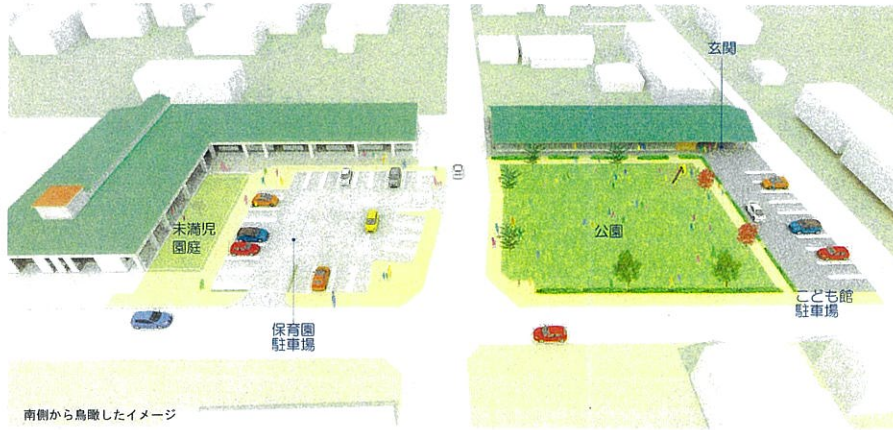
富里市子ども・子育て環境整備事業について

平成27年7月24日
健康福祉部子育て支援課

葉山地区整備計画

安全性と利便性の両立

- 安全と安心を最優先
 - ・子どもたちの安全と、子どもたちを預ける保護者の安心を最優先に考えます。
- 子どもたちにとって楽しい場所
 - ・子どもたちにとって、毎日を楽しみ過ごせる施設となることを目指します。
- 保護者の負担軽減への配慮
 - ・送迎等の負担を少しでも軽減できる、保護者にとって利便性の高い施設とします。
- 環境負荷低減への取り組み
 - ・自然採光や通風等を積極的に取り入れ、環境負荷に配慮した計画に取組みます。

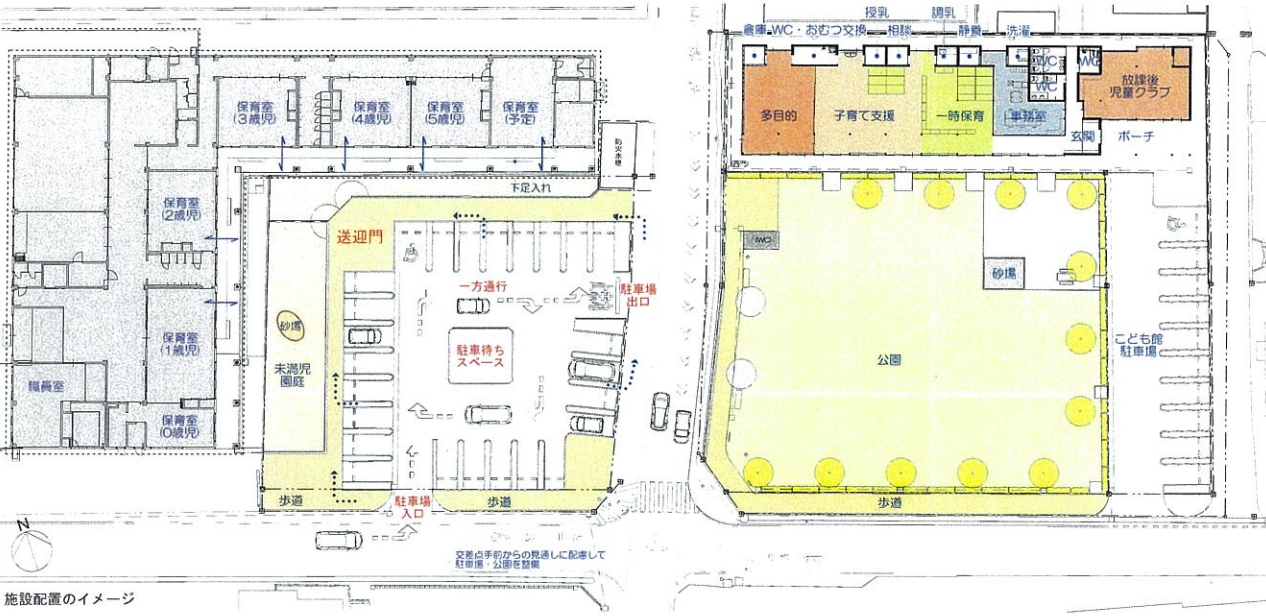


南側から鳥瞰したイメージ

(仮称) ともども館の配置計画の考え方

南側に公園を望む、快適な居住環境の(仮称)ともども館をつくる

配置比較	計画案	A案	B案
■地域のための公園	○	○	○
・公園は、地域の親近感を継承するように、市道02-008号線に対して現状と対象の位置とします。ともども館敷地は、建物を北側、駐車場を東側とするし字型に設定します。			
■保育園との連携と快適性の確保	○	○	○
・(仮称)ともども館は、保育園との連携を図りやすく公園と隣接する環境を有効に活用して快適な内部環境を確保するために、保育園の軸線と一致させて、北側に寄せて東西軸上に配置します。			
■(仮称)ともども館の主たる部屋は南向き	○	△	△
・主たる部屋を全て南向きとし、日照と公園の眺望が得られる良好な居住環境とします。			
配置比較	計画案	A案	B案
整形な公園	○	○	○
公園の親近性	○	○	○
当該施設の公園の有効利用	○	○	○
駐車場の台数・とめやすさ	○	×	○
駐車場から玄関への利便性	○	◎	◎
保育園との連携	○	△	△
内部ゾーニング	○	○	○
管理のしやすさ	○	△	○
内部の快適性	○	×	×

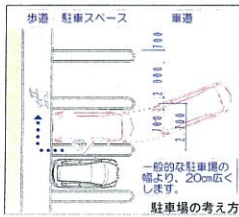


施設配置のイメージ

駐車場整備の考え方

子どもたちを安全に送迎できる駐車場にする

- 安全に配慮した計画
 - ・出入りの安全を優先して、入口を南側道路に、出口を東側道路に設けます。
 - ・中央を通路、周囲を駐車スペースとして、見通しを良くし、止めやすく、事故の起きにくい駐車場とします。
 - ・駐車スペース周囲に歩道を設け、車から降りた子どもたちが駐車場内を歩かなくてよいようにします。



駐車場の考え方

■駐車場に面して送迎口を設ける

- ・子どもたちの送迎は、各保育室のテラス側から行うように想定し、駐車時間を短縮します。
- ・駐車場と園舎前はフェンスで区画し、安全を確保します。
- ・送迎門は園舎の入隅の位置に設け、東向き未満児と南向きの3～5歳児の動線を区分しやすくします。

■駐車スペースの適切性について

- ・定員150人全員が保護者の車で通園し、そのうち1割の保護者がふたりの園児(兄弟姉妹)を送迎すると仮定し、送迎の車は、150台-15台=135台となると想定します。
- ・そのうちの25%が8時前に登園すると仮定します。8時～8時半の間に、 $135 \times 75\% \approx 100$ 台が集中すると想定されます。



- ・25台分の駐車スペースを100台が利用すると、 $100台/25台=4$ 回転することになり、1台の平均駐車時間は30分/4回転 \approx 7.5分程度確保できます。

公園整備の考え方

地域に開かれ、(仮称)ともども館と共存する公園にする

- ゆるやかに囲みながら、地域に開く
 - ・公園の形状は、既存を踏襲し、管理しやすい矩形とします。
 - ・朝夕・休日は市民に広く提供される都市公園とし、平日の日中は施設を利用する子どもたちの積極的な利用を想定します。
 - ・夏に日影をつくる樹木を植栽します。

スケジュール案

平成27年度												平成28年度							
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
基本・実施設計												建築確認							
塙解体												富里こども館建設							
公園解体												駐車場整備							
塙解体												館建設							
公園解体												館建設							

一体的な空間を構成する



子育て支援+多目的室のイメージ



一時保育室のイメージ



放課後児童クラブのイメージ

平面計画の考え方

明快なゾーニングを構成する

- ・子育て支援室と放課後児童クラブは、子どもたちの年齢や利用時間帯も異なることから、両者を明確に分けて構成します。
- 駐車場に面する玄関
 - ・玄関は駐車場に面して設けます。玄関前には広いポーチを設け、スムーズな出入りを可能にします。
- 事務室
 - ・事務室は、玄関付近に設けて、駐車場・公園を見渡せるものとします。
- 放課後児童クラブ
 - ・夕方の職員の負担を軽減することに配慮して、玄関・職員室に近い位置に設けます。
- 子育て支援室
 - ・小さな子どもたちの安全性に配慮した計画とします。
- 一時保育室は子育て支援室に隣接
 - ・子育て支援室と隣り合う位置に設け、オムツ交換室、授乳・調乳室を共用できるものとします。
- 複合的活用に配慮した多目的室
 - ・多目的室は、様々な講座等に利用しやすい位置に配置します。

向台地区整備計画

(仮称)向台こども園の建築計画の考え方

こども園全体の一体感を大事にする

- ・既存幼稚園に保育園機能・子育て支援機能を加えて幼保連携型認定こども園として改編するにあたり、増築とともに現況施設の一部を改修して、機能の組み換えを行います。認定こども園として既存・増築部分が、機能的にも景観上も一体の施設とする計画とします。

施設配置の考え方

東側に増築し、園舎が園庭を囲む

- 増築園舎は東側に配置する
- ・増築位置について、下表のように比較検討しました。
- ・園内の安全性の確保、冬季も周辺樹木の日影の影響を受けにくい快適な環境の確保、既存園舎との連続性を考慮し、園庭東側に増築します。

既存配置	東側配置	南側配置	分棟配置
職員室からの見通し	◎ 園庭・校門共に良好	○ 現状程度	△ 駐車場悪い
子育て支援センターの位置	◎ 駐車場に近い	△ 駐車場から近い	◎ 駐車場に近い
園舎への日照	◎ 良好	× 増築部分は悪い	△ 南側増築部分は悪い
先生の動線	◎ 比較的短い	△ 比較的長い	△ 比較的長い
送迎の動線	◎ 比較的短い	× 長い	× 長い
配膳の動線	◎ 比較的短い	△ 比較的長い	△ 比較的長い

子どもたちを包むように園舎で園庭を囲む

- ・既存保育室部分・ホール棟とともに、コの字型に園庭を囲み、子どもたちを優しく包み込む構成とします。
- ・駐車場と園庭を増築園舎によって区分し、子どもたちにとって安全な環境をつくります。

使いやすい駐車場に再整備する

- ・現状の舗装を維持しながら、安全で見通しのよい駐車場に整備します。
- ・2ヶ所の駐車場入口を一本の通路で結びます。通路幅を広く設け見通しをよくし、駐車しやすくします。
- ・園舎側駐車スペース後ろ側に歩道を設けて、安全な通路を確保します。

工事中の配慮

子どもたちの安全に配慮して工事を行う

- ・工事中は先生方の車両と工事車両は北側入口を使用し、北側通路に面して工事用入口を設けることとします。
- ・南側駐車場を先行して整備し、工事中の送迎車両駐車場とし、園舎へは工事範囲南側から園庭を経由する動線を確保します。

スケジュール案

平成27年度												平成28年度											
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
基本・実施設計												建築確認											
解体												(仮称)向台こども園増築工事											
改修工事																							

解体撤去・駐車場整備	解体撤去・駐車場整備	解体撤去・駐車場整備	解体撤去・駐車場整備

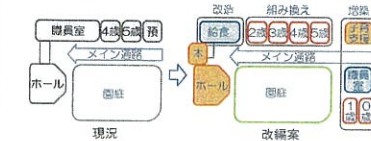


機能構成の考え方

運営のしやすさを重視して機能を改編する

■保育室の並びを入れ替える

- ・既存職員室部分と既存保育室の学年を入れ替え、2歳～5歳の保育室を玄関に近い位置から子育て支援に行くにしたがって年齢が高くなるように配置します。既存配膳室部分はこども用のWCに改修します。



■雨水排水計画

- ・増築棟の南側に地下貯留施設を設け、雨水排水計画をします。

■職員室を入口近くに設ける

- ・職員室は、現状位置を踏襲すると入口から遠く、管理運営がしにくくなります。
- ・職員室を増築部分に組み入れ、入口に近い駐車場、園庭を見渡せる位置に設けます。
- 増築部分は子育て支援と未満児保育室
- ・現状のメイン通路の延長線上に園舎・園庭への正門を設定し、北側に子育て支援センターを配置します。
- ・南側に、職員室と0・1歳児の保育室を配置します。小さな子どもたちの送迎に際しての保護者の負担に配慮し、園内入口に近い位置とします。

平面計画の考え方

安全・安心の園内環境

■安全な園内の設定

- ・園舎と園舎に囲まれた園庭部分を「園内」とし、保護者が安心して子どもを預けられる環境をつくります。
- 子育て支援施設は北側
- ・子育て支援センター・預かり保育室は、おむかえひろばに面し、職員室と向かい合う増築園舎北側に設けます。

■おむかえひろば

- ・園内へのゲートとして、屋根のあるひろばを設けます。



■職員室はおむかえひろばに面する

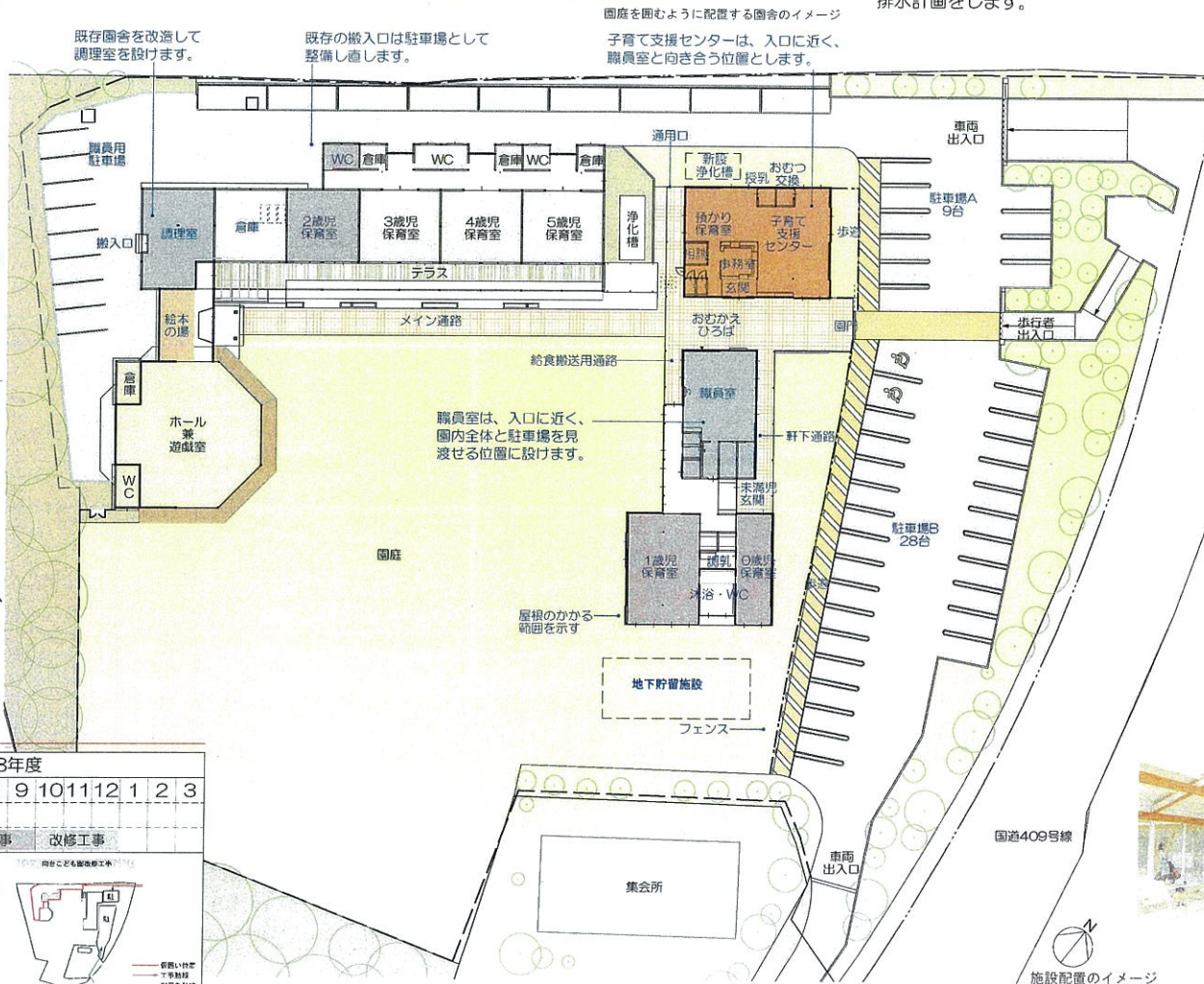
- ・職員室は、「おむかえひろば」に面する南側に設けます。増築園舎の入口となり、既存園舎の保育室・ホール、園庭を含む園内全体が見渡せると同時に駐車場の様子も把握できます。

■乳児の保育室は職員室と近接

- ・0歳児保育室・1歳児保育室は職員室に近接させて設けます。
- ・増築園舎東側の軒の出を大きくして送迎動線とし、未満児玄関へ誘導します。



子育て支援のイメージ



国道409号線



施設配置のイメージ